



東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト

RICHIE MCCAW Charity for All

～ Japan Tour May 2017 Support Our Kids ～



東北の子ども達が 世界に羽ばたく為に

史上最高の名主将 リッチー・マコウ氏が 東日本大震災被災児童の為に来日!



※東日本大震災被災児童自立支援チャリティ企画として開催。
本公演の収益は、全額、Support Our Kidsの東日本大震災被災児童自立支援活動に充当されます。

Charity Auction Dinner

2017 **5/29**
mon.

会場: **ヒルトン東京 お台場**
(東京都港区台場 1-9-1)

●新交通ゆりかもめ「台場駅」直結
●りんかい線「東京テレポート駅」徒歩約10分

受付開始**18:00** 開場**18:30** 開会**19:00** ※受付開始からサイレントオークションを実施

Special Guest スペシャルゲスト

リッチー・マコウ

●出身:ニュージーランド ノースオタゴ地方 オアマル
ニュージーランド代表の主将として、ニュージーランド代表のラグビーワールドカップ史上初となる連覇に貢献(ラグビーワールドカップ2011/開催地:ニュージーランド、ラグビーワールドカップ2015/開催地:イングランド)。2015年に引退。同年12月にニュージーランドでは最高の勲章である『ニュージーランド勲章』を史上最年少で受章。
2016年9月1日よりリッチー・マコウ氏を題材にしたドキュメンタリー映画「Chasing Great」が公開された。



Guest ゲスト



アンドリュウ・マコーミック氏
元ラグビー日本代表キャプテン
(外国人初のキャプテン)



小野 晃征氏
サンゴリアス SO
(ジャパンラグビートップリーグ2016-2017 得点王)

Charity Auction

チャリティオークション

リッチー・マコウ氏、ダン・カーター氏などラグビー界のスター選手のサイン入りグッズをはじめ、スポーツ、音楽などのレアアイテムを多数出品!

*当日は、VISA、MASTER、AMERICAN EXPRESSをご使用頂けます。

- 日時: 平成29年5月29日(月)
受付開始 18:00
*同時にサイレントオークション開始
開場 18:30/開会 19:00
- 来賓: 各国駐日大使館大使
- 主催: Support Our Kids 実行委員会

- 内容: ①趣旨説明
②リッチー・マコウ氏挨拶
③来賓、ゲスト紹介
④東北生徒挨拶
⑤チャリティライブ
⑥チャリティオークション

- 料理: 着席コース料理
- 会費: ①テーブル25万円/1卓10席
*テーブルパッケージは、10席となります。(優先配置)
②スタンダード2万円/1席
- 定員: 300名

●チケット一般販売 **ローゼクHMV** **チケットぴあ** **GNDプレイガイド**

Yahoo! ネット募金実施中!

「Yahoo! ネット募金」からSupport Our Kidsプロジェクトへ寄付できます。皆様の継続的なご支援をお願い申し上げます。



(お問い合わせ) NPO法人 次代の創造工房 ☎03-6272-6252 <http://support-our-kids.org/rm/> www.facebook.com/jidai.or.jp

協賛:

Support Our Kids
ひとりじゃないよ

Support Our Kids

「東日本大震災被災児の自立支援」「復興のリーダーづくり」を目的に発足。主たる活動は、世界12カ国の大使館や外務省と連携し実施している「海外ホームステイを通じた被災児の自立心育成活動」。これまでに海外に渡った子ども達は342名を数える(2017年2月現在)。「世界」「歴史」「多くの人々の温もり」に触れ、帰国した子ども達は、「今度は自分達が誰かの為に」と自発的に、復興プロジェクト「HABATAKI」を始動。ひとりでも多くの子ども達が自らの手で明るい未来を切り拓いてゆけるよう、理解と支援の環を拡げながら震災から10年、2020年まで活動を継続する。

ホームステイプログラム 2015~2016活動報告

✦ スイス・ポーランド



終戦70年を節目に、アウシュビッツ解放70年のポーランドと永世中立国スイスをめぐり、復興と平和について学ぶ。日本国大使館、国際赤十字・赤新月社連盟、アウシュビッツ強制収容所訪問。日本美術博物館を設立したアンジェイ・ワイグ監督と対面。現地の大学生、高校生たちと交流。(6名参加)

2015年
12月

🇮🇪 アイルランド



外務大臣、ダブリン市長、日本国大使館、WorldRugby を表敬訪問し震災プレゼンテーションを実施。語学学校に通い、異文化交流を行う。アイルランド剣道連盟と交流会。トリニティ大学見学。サッカー、ゲーリックフットボール観戦。(9名参加)

🇦🇺 オーストラリア



豪日交流基金の一部助成により実施。クィーンズランド州政府教育機関協力のもと、現地高校に通学。震災プレゼンテーションや日本文化を伝えた。現地小学校にも訪問。アボリジニダンス体験。ブリスベン市内、ローンパイン・コアラサンクチュアリ観光。(9名参加)

2016年
7月

🇳🇿 ニュージーランド



オークランドとクライストチャーチに滞在。市長を表敬訪問し、震災プレゼンテーションを実施。SOK名誉会長ケネディ夫妻と仙台市から寄贈された電灯を見学。現地高校通学。Game of Englishラグビー体験。(10名+OBの引率アシスタント1名参加)

🇨🇦 カナダ



現地日系人と交流し、苦しい環境でも夢をもってチャレンジするフロンティアスピリットを学ぶ。サマーキャンプに参加し、アクティビティを通じて現地の方々と交流。トロント市庁舎表敬訪問。ロータリークラブ交流。テーブルマナー教室。ナイアガラ観光。(8名参加)

8月

🇺🇸 アメリカ



ロサンゼルス、モンレー、サンフランシスコに滞在。MAZDA社、寺田陽次郎さんの協力のもとレースを観戦。サーキット走行も体験。ドジャーススタジアムにて前田健太選手と交流。野球観戦。スタンフォード大学、NASA、Google見学。(10名参加)

参加生徒の声

福島県いわき市 中学2年 女子

受身の姿勢で参加してしまったホームステイ、最初の三日から四日は泣きっぱなしでした。ステイ先に居場所を感じることができなかったのです。しかし、これは私が悪いわけではないと頑なに思っていました。窓を開けているのに何もしてこないほうが悪いと思っていたのです。自分の目的も、このプロジェクトの目的も、何も達成しておらず、何もできない申し訳なさで泣いていました。一週間が過ぎそうなとき、「これじゃあだめだ!」とやっと思ひ、積極的に話しかけたり、リビングに居座ってみたり、仲良くなるうと自分から頑張ってみました。それから、仲良くなれて、最後にはお互い泣くくらい別れが惜しくなっていました。最後までうまく何も伝えられなかったし、迷惑もたくさんかけて、恥ずかしいこともたくさんして、それでももっと一緒にいたかったなと思いました。

私はこのホームステイで本当の自立について考えました。私がこのホームステイで思った本当の自立とは、「与えられた状況下でいかにうまくやるか」ではなく、「与えられた状況をいかに自分で考え、動き、この状況を打開するか」です。このホームステイは私の自立に大きなチャンスを与えてくれました。無駄にしないよう、また私がホームステイするにあたって関わってくださったすべての方々への感謝を忘れず、精一杯頑張りたいと思います。

寄附という形でSupport Our Kidsの活動を支援してください。

弊会では、震災から10年間(2020年まで)被災児童の自立支援活動を継続して参ります。

ひとりでも多くの子ども達に海外経験を通して自立のきっかけを掴んでもらいたい!これが弊会の願いです。

ひとりでも多くの被災児童が、自らの手で明るい未来を切り拓いていけるように、皆様の温かいご支援、宜しくお願い致します。

寄附金お振込み先: ゆうちょ銀行

※記録管理のため、お振込の際は必ず振込名義人のはじめに「529」とご入力下さい。(例)529ヤマダタロウ

他行からゆうちょ銀行に
お振込み頂く場合

支店名: 〇一九店(ゼロイチキョウ)
預金種目: 当座
口座番号: 0358733 (7桁)
名義: トクヒ)ジダイノソウゾウコウボウ

郵便局から
お振込み頂く場合

記号: 00100-5
番号: 358733 (6桁)
名義: トクヒ)ジダイノソウゾウコウボウ